

# ちやれいばらきター



認定NPO法人リヴォルヴ学校教育研究所



市民活動団体UDワーク



大子町地域おこし協力隊



一般社団法人大洗観光協会(砂浜図書館)



一般社団法人ライフ・ケア・ひたち

## CONTENTS

### 〔特集〕P4-5 共助につながる人の和を広める団体の紹介!!

P 2 令和2年度 チャレンジいばらき県民運動のつどい  
コミュニティワーカー派遣のご案内

P 3 提案型共助社会づくり支援事業

P 6 令和2年度 茨城県生活学校連絡会 運動大会  
NPO 法人設立説明会

P 7 令和2年度 県民活動推進員の活動報告

INFO ホームページにて市民活動団体が検索できるようになりました。



令和  
2年度

# チャレンジいばらき 県民運動のつどい

共助による地域コミュニティづくりを推進するため、令和2年11月27日(金)に水戸市内で、令和2年度チャレンジいばらき県民運動のつどいを開催しました。

当日は、第48回花と緑の環境美化コンクールの表彰式、令和2年度花いっぱい運動定着化促進事業の認定証交付式並びに令和2年度チャレンジいばらき作文コンクールの表彰式を行いました。



## 受賞された皆様、誠におめでとうございます。

ホームページにて受賞者・団体の皆様を紹介しておりますので、是非ご覧ください。

花と緑の  
環境美化コンクール

受賞花壇紹介動画



チャレンジいばらき  
作文コンクール

受賞作品集



## コミュニティワーカーを 派遣しています

チャレンジいばらき県民運動では、共助による茨城づくりを進めることを目的に、住民参加型の手法で身近な地域課題の解決を支援する人財「コミュニティワーカー」を養成・登録しています。「コミュニティワーカー」の地域派遣も行っていますので、是非ご利用ください。

### 《 コミュニティワーカーの支援事例 》

住民参加による地域活動のための意識調査、分析

住民参加のワークショップの運営

ワークショップで生まれたプロジェクトの実現に向けたサポート 等

派遣内容の相談、コミュニティワーカーの選定、派遣後のフォローアップ等は、事業を協働で実施しているNPO法人セカンドリーグ茨城がご相談を承り、サポートします。



### コミュニティワーカーとは

地域課題に取り組む方を支援するスキル(傾聴、情報収集・分析、ファシリテーション能力)を持つ人財のことで、チャレンジいばらき県民運動に登録されています。

お申込み

お問い合わせ

NPO 法人セカンドリーグ茨城

Tel.029-297-7040 Fax.029-233-2110 E-mail ▶ info@2nd-league-i.com

当事業のWEB サイト





# 提案型 共助社会づくり支援事業

少子高齢化等により喫緊の地域課題が増えていますが、それらの解決に向けた取り組みを支援するため、令和元年度から新たに、県と市町村が連携した提案型の助成事業を開始しました。前号に続き、事業採択された団体の活動状況を紹介します。(第3回)



## 認定NPO法人 リヴォルヴ学校教育研究所

### 今、あなたがいる場所を知り 「一歩先」を目指す大切さ

小中学生の不登校を防ぐための居場所提供と学習支援を目的として、「放課後くらぶ」と「外国籍の子ども向け日本語教室」を行っています。「放課後くらぶ」では、現在子ども1人にスタッフ1人、その子の興味関心に合わせて活動(作文、工作、手芸等)を行っています。また、これらの支援が必要な家庭向けに行う保護者の会では、保護者同士でリラックスした環境で共感しながら話すだけでなく、スタッフと保護者がコミュニケーションを取り、みんなで一緒に成長を見守ることを大切にしています。将来的には、地域の色々な団体と連携し、あらゆる環境にある子どもを元気に出来るようなくらぶ活動や、多世代交流なども考えていきたいです。

認定NPO法人 リヴォルヴ学校教育研究所 小野村 哲さん・佐々木 侑紀さん



放課後くらぶ ▶ 毎週 月曜:17~19時(小・中学生対象/上限10名程度)

日本語教室 ▶ 毎週 水曜:16~18時/金曜 17~18時30分(小・中学生対象/上限20名程度)

タオル帽子作り、折り紙の会  
(それぞれ月2回)開催中  
タオル帽子は年間約300枚を  
市内の病院に寄付しています。

## 一般社団法人 ライフ・ケア・ひたち

### 「おたがいさま」の支え合い 感謝の気持ちが人をつなぐ

昨年6月オープンの「いこいのひろば 元気カフェ ベンてん」は毎月300人程が利用し、食事や交流を楽しんでいます。ここは、「いつでも、1人でも、気軽に立ち寄れる居場所」を提供しようとスタートしました。利用者の多くが「人と話したい」と集まることから、1人で来た人にはスタッフから積極的に声をかけています。運営を支えるボランティアは30代から80代まで幅広く、その多くが子育てや介護の支援を受けた経験があり「今度は自分が出来ることで誰かの役に立ちたい」と参加しています。春休みには、親子茶道体験、みんなの食堂など、幅広い世代が交流できる企画も予定していますので、どなたでも気軽にお立ち寄りください。



一般社団法人 ライフ・ケア・ひたち

会長 佐藤 英子さん・中川 雅子さん・若林 玲子さん

いこいのひろば 元気カフェ ベンてん《月~金/10~16時 営業》〒317-0072 茨城県日立市弁天町1-1-18



# 特集

# 共助につながる人の和を

コロナ禍で見つけたITを使った新しい交流のカタチ  
誰でも参加できるようにする共助の取り組み



## 認定NPO法人 水戸こどもの劇場

### 子育てが孤育てにならないように、 親子に寄り添う

新型コロナの影響で行動が制限される中、在宅でのストレス軽減など少しでも子育ての支えになれば、という想いからオンライン（Zoom）での活動を始めました。これまで、未就学児親子向けの講座や中高生を持つ親が悩みを語り合うサロン、2020年の夏休みには子ども向け表現ワークショップ「シアターうん・どうかい？」などを開催しています。対面活動と比べて困ったのは、口コミが広がらず広報が難しいこと。また、「ママ友に出会えない」などの声も多く聞かれました。一方、孤立した環境下でも、人とつながり交流できるのはオンラインならではの利点です。誰かに話を聞いて欲しいという方は是非、気軽にご参加ください。

認定NPO法人 水戸こどもの劇場

代表 平野 弥生さん・西海 純子さん・西連寺 明子さん・柳澤 麻紗美さん



オンラインが初めてで不安な方にも  
私たちがサポートします！

水戸こどもの劇場HP



## 市民活動団体 UDワーク

### 画面越しでも人とつながる 喜びを感じてほしい

外出が困難な高齢者の孤立を防ぐための支援や、交流会などを行うUDワークでは、非接触でも人とつながる事ができる、ZoomやLINEなどITを活用しています。多くの人にZoomの操作を体験してもらおうと開催した「リアルオンライン体験会」には計41回で延べ435名（うち65歳以上が277名）が参加。IT初心者でも、操作の練習を重ねるうちに便利さを実感できるようになり、自分にあう使い方を発見していました。オンライン通話は、顔が見える安心感や、表情を見て不調を察するなど、外出制限により家で孤立しがちな高齢者と、その支援者双方に利点があります。多くの人が、画面越しでも人とつながる喜びを感じ、快適に過ごせるサポートを続けていきます。



2月1日より  
「オンラインチャレンジ」という  
プロジェクトをスタートしています。

オンラインチャレンジHP



市民活動団体 UDワーク 代表 前田 亮一さん・副代表 木村 奈保美さん



# 広める団体の紹介!!

地域を元気な街へ盛り上げるため、共助に発展する  
交流を呼び寄せる取り組み

## 一般社団法人 大洗観光協会

「みんなで一緒に楽しもう」という想いが  
大洗のファンを増やし、地域を元気にしている

茨城県を代表する観光地「大洗」。近年ではアニメ「ガールズ&パンツァー」の舞台としても広く知られています。ガルパンの放送が始まったのは2012年秋、東日本大震災の復興さなかのことでした。地元を舞台としたアニメをきっかけに、有志を中心に街を元気にする取り組みをスタート。繰り返し訪れるアニメファンと商店街の方々との間に、徐々に心通わす交流が生まれ始め、やがてガルパンファンから大洗町のファンへと発展。今では親戚付き合いのような輪が広がっています。「大洗の何気ない日常が魅力ある観光資源となったのです。ファンの皆さんと歩んできたこの道のりは貴重な財産です。」と大里会長は語ってくれました。コロナ禍の一年、対面での交流ができない中、店舗救済型のクラウドファンディングにチャレンジしたり、新たな海の魅力を伝える「砂浜図書館」など、常に創意工夫を重ね街を元気にする活動を展開しています。今後の大洗町がますます楽しみです。

一般社団法人 大洗観光協会 会長 大里 明さん



砂浜図書館



有志メンバーによる会議風景(こそこそ作戦)



## 大子町地域おこし協力隊

地元住民と支えあい  
地域の賑わいづくりをめざす

大子町地域おこし協力隊は、地域の賑わいづくりや外部とのパイプ役などを担うべく町外から募った多世代の組織です。隊員の一人、飯田萌美さんは、大子町の豊かな自然や食、観光などに魅了された一方、過疎や高齢化が進む町に元気を取り戻そうと奮闘する地元住民に共感し、協力隊を志したそうです。家族同然に接してくれる地元の方々との日々の温かな触れ合いは、協力隊の励みになったといいます。そんな日常を2019年10月、台風19号の浸水被害が襲いました。被災した住民のために、協力隊は災害情報を掲載したお知らせ版を発行。紙媒体であるお知らせ版は、特に高齢者にとって効果的な情報伝達手段として役立ちました。隊員の任期は3年間。この1月に卒業を迎え、「地域のため活動するには、地域の声に耳を傾け、協力し合える環境づくりが大切」と振り返る飯田さんは、この後も大子町に定住し、商店街や施設に関わる仕事を続けていこうです。築き上げた人間関係と経験を活かした新しいチャレンジが始まります。

大子町地域おこし協力隊 隊員 飯田 萌美さん





令和2年度

# 茨城県 生活学校連絡会 運動大会

環境問題や少子・高齢化などの身近な生活課題について学び合い、  
活動を広げるため、令和3年2月24日(水)、運動大会を開催しました。

大会では、各地区の生活学校の活動発表と、ジャーナリストで環境カウンセラーの崎田裕子氏の「みんなでチャレンジ! 減らそう食品ロス」をテーマにした講演を実施。崎田講師からは、国内外の食品ロスの現状紹介等とおし、「食品ロス(廃棄食材)の削減には、私たち一人ひとりの食材を大切にすることの心がけが大切」とお話しいただきました。大会の最後には、食を通じたエコライフ運動(食品ロス削減など)や再生品の使用拡大運動等について、地域住民や団体・企業・行政と連携して推進することを取り込んだ大会宣言を行い、参加した皆さんは、より暮らしやすい地域社会に向けて協力し合うことを確認していました。コロナ禍により活動が制限される中、今出来ることを出来る範囲で行おうとする前向きな姿勢には勇気をもらいました。今後、益々の活躍を期待しております。



藤原 正子 会長



崎田 裕子 講師

## NPO法人 設立説明会



NPOって何だろうNPO 法人になると何ができるの?

チャレンジいばらき県民運動と茨城県では、NPOに関心がある方やNPO 法人の設立を考えている方々を対象に、初めての方が疑問に思う制度の概要から、実際に設立するための手順やNPO 法人化のメリット、デメリットまでをわかりやすくお伝えする説明会を随時開催しています。

設立説明会は今後も引き続き開催する予定ですので、是非ご参加ください。

(開催日時等はホームページやツイッターなどでお知らせします。)

また、県ではNPO 法人設立に関する相談も随時受け付けていますので、事前に予約の上ご相談ください。



### 参加者の声 (NPO 法人設立説明会参加者アンケートより)

Aさん

本で学んでいただけではイメージがよくわからなかった。説明会に参加したら具体的に何をすればよいか理解でき、相談窓口もわかって良かった。

Bさん

NPO 法人になるメリットやデメリットを知ることができて良かった。

などのお声をいただいております。

お問い合わせ

茨城県県民生活環境部 女性活躍・県民協働課 (多文化・協働担当)

Tel.029-301-2175 Fax.029-301-2190 E-mail ▶ jousei-kenmin1@pref.ibaraki.lg.jp



令和2年度

# 県民活動 推進員の 活動報告

チャレンジいばらき県民運動の事業を効果的かつ円滑に推進するため、28名の県民活動推進員（理事会の議決を経て理事長が選任）の皆さんにご協力をいただいています。

令和2年度は、県民運動のつどいをはじめ、広報紙の企画・編集、作文コンクールの審査等にご協力をいただいたほか、新しい事業企画の提案と事業化に向けた道筋をつけていただくため、新たに2つのプロジェクトチームを立ち上げ、活動していただきました。



## プロジェクトチーム

魅力発見・発信県民運動プロジェクトチーム（14名で構成）

ITを活用した県民運動プロジェクトチーム（6名で構成）

令和2年度は、プロジェクトチームの提言を受けて、以下の取り組みを実施しました。

### 《SNSを活用した情報発信の強化》

Twitter投稿件数 4～9月〔14件〕▶ 10～2月〔79件〕

### 《ホームページの充実》

市民活動団体（250団体）の検索画面を新設し利便性を向上  
来年度はホームページのリニューアルを検討



## 広報紙「ちゃれいばレター」の企画・編集（6名で構成）

令和2年度は、発行回数を年2回から3回に増やし、よりタイムリーな話題の提供に努めました。読者に伝えたいことは何か、読者が知りたいことは何か、今必要とされる情報は何かを発行者と読者の両方の目線で真剣に考えていただきました。取材箇所が増えたことに加え、新型コロナの影響により、現地取材が制限される中、リモートでの取材など、何かとご苦労をおかけしました。

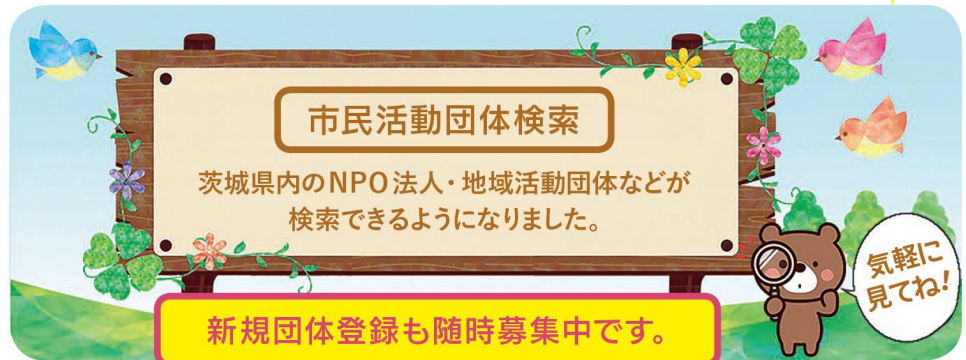
企画会議 ▶4回 | ★取材箇所 ▶13箇所 うちリモート取材 ▶5箇所

今後もチャレンジいばらき県民運動は、県民活動推進員の皆さんの力をお借りしながら、県民一人ひとりが幸せを実感できる、やさしさとふれあいのある茨城を実現するため、県民の主体的な県民運動を推進していきます。



# チャレンジいばらき県民運動のホームページにて、 市民活動団体が検索できるようになりました!!

活動分野や市町村、キーワードから団体を検索できるので、皆さんの興味や関心に応じた市民活動やその実践団体を探すことができます。活動団体同士の連携やネットワークづくりにも活用ください。



お問い合わせ

**交流サルーンいばらき**

水戸市三の丸1-5-38  
茨城県三の丸庁舎2階

Tel.029-302-2160 Fax.029-233-0030

ホームページ ▶ <https://challenge-ibaraki.jp/saloon.html>

E-mail ▶ [saloon@challenge-ibaraki.jp](mailto:saloon@challenge-ibaraki.jp)

検索ページはコチラ



登録方法はコチラ



## 投稿記事を募集しています!

チャレンジいばらき県民運動では、茨城県内各地域の情報や、地域活動員(ネットワーカー)の活動の投稿記事を募集しています。投稿していただいた内容は、広報紙「ちゃれいばレター」や当県民運動ホームページ上でご紹介していきます。是非、お気軽に投稿してください。

### 投稿方法

ホームページ上の「地域活動投稿フォーム」に、記事や写真を入力してください。



## チャレンジいばらき 県民運動

## 会員募集

チャレンジいばらき県民運動では、福祉、環境、青少年、防犯など様々な分野での地域活動・市民活動を、県民・団体・企業・行政が手をつないで支え合い、共助による新しい茨城の実現に向けて、社会の課題に挑戦する県民運動を展開しています。このような趣旨にご賛同され、運動に参加していただける団体・企業、個人の会員を募集しております。

★団体会費(年)10,000円

★個人会費(年) 2,000円



### 編集後記

(今号を持ちまして編集担当の県民活動推進員が変更となります。)

今年度は、新型コロナの影響により、取材時におけるマスク着用などの感染拡大防止対策はもちろん、リモートでの取材や急な日程の変更などを余儀なくされた一年でした。不慣れでつたない取材や急な日程変更に対応いただきました皆様に、心からお礼申し上げます。また、お忙しいところ本紙をお読みいただいた皆様に感謝を申し上げるとともに、少しでも活動のきっかけにいただけたら幸いです。コロナ禍の一刻も早い終息、そして皆様の健康と更なる発展をお祈り申し上げます。

## チャレンジいばらき県民運動 広報紙

令和3年3月31日発行 (発行) チャレンジいばらき県民運動 (編集) 県民活動推進員(魅力発見・発信グループ)

お問い合わせ

**チャレンジいばらき県民運動 事務局**

〒310-0011 茨城県水戸市三の丸1-5-38 Tel.029-224-8120 Fax.029-233-0030

ホームページ ▶ <https://challenge-ibaraki.jp> E-mail ▶ [info@challenge-ibaraki.jp](mailto:info@challenge-ibaraki.jp)

